

技術資料-1:濃尾地盤における深部地盤構造

(出典:都市地震防災地盤図に関するシンポジウム, 1999 年 1 月 27 日)

近年, 大きな地震が発生した際に平野直下に「震災の帯」やこれに準じる「強震動地区」が発生する事例が見られます。当, 濃尾平野でも, 濃尾地震 (1891 年) や福井地震 (1948 年) において「震災の帯」が発生した可能性を, 防災の観点上から見直す必要があるとされている。

1. 濃尾地震による地震(図-1)

濃尾地震では, 岐阜市・大垣市～濃尾平野にかけて, 震裂波動線第一, 震裂波動線第二, 震裂波動線第三と呼ばれる三列の「強震動帯」が形成されたと言われています。特に第二, 第三の震裂波動線に沿って, 地盤の隆起・液状化現象が発生し, 家屋・堤防・その他の構造物が壊滅的な被害を受けたとされています。

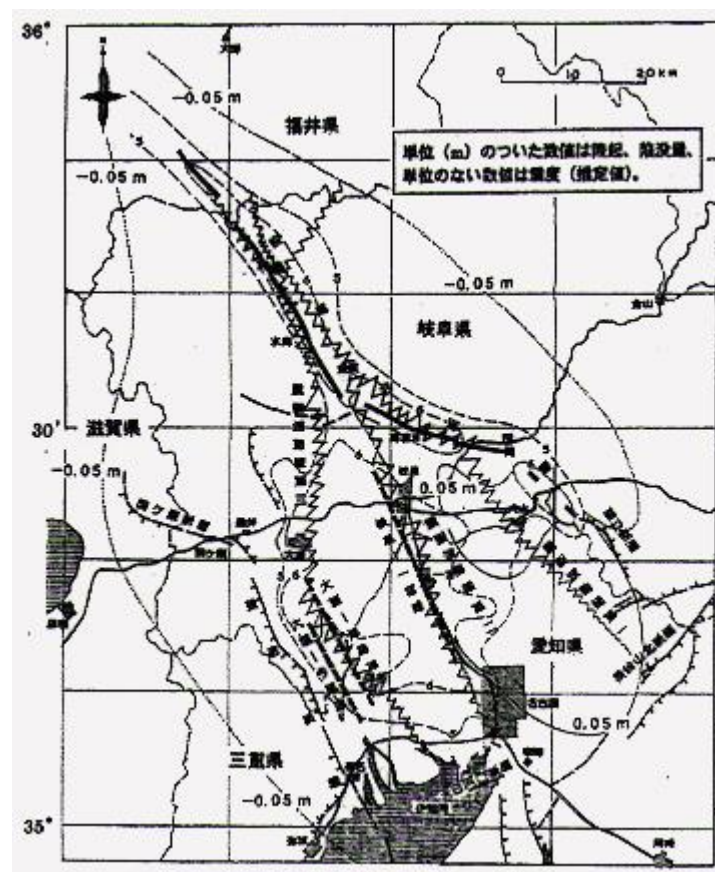


図-1 濃尾地震による地変・震度・震裂波動線